

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	帝京平成大学 千葉キャンパス 新校舎(旧ちばら台キャンパス)	階数	地上7F 地下0F
建設地	千葉県市原市	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	2,426 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,480 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2026年1月9日
敷地面積	34,024 m ²	作成者	株式会社 大林組 島田美津
建築面積	10,890 m ²	確認日	2026年1月9日
延床面積	40,479 m ²	確認者	株式会社 大林組 島田美津



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 本物件は千葉県市原市に計画された学校である。敷地内には豊かな自然環境の保全やスラックライン広場等を設けるなど、快適性が高く自然に親しめる環境を提供している。		その他
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮している。 ・室内の細かな照明制御により、光環境の良化に配慮している。	Q2 サービス性能 ・建物コンセプトに基づく内装計画により、快適な居住性に配慮する。 ・十分な階高を確保し、空間の対応性・更新性に配慮する。	Q3 室外環境 (敷地内) ・既存植物の保存や自生種の採用による生物環境の創出に配慮している。
LR1 エネルギー ・エネルギー消費量を詳細に把握し、効率的な運用に配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・節水効果のある水栓等を採用し、水資源保護に配慮する。 ・雨水を利用し、水資源保護に配慮する。 ・リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量削減に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・適切な駐輪・駐車台数を確保し、周辺の道路インフラへの負荷抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される